

令和５年度第３回川崎市立病院運営委員会 川崎市立病院中期経営計画２０２４－２０２７（案）に対する意見照会結果一覧

No.	委員名	該当箇所	御意見	病院局の見解
1	関口委員	【概要版】第２章 市立病院を取り巻く環境について 1 医療制度改革の推進【国】 ・高齢化や人口減少の進展により社会保障費は医療・介護の分野を中心に増加することが見込まれています。	高齢化により社会保障費が増加することは理解出来ますが、人口減少により社会保障費は増加しますか？	人口減少により社会保障費が増加するという文言は分かりにくい ため、記載を次のとおり修正いたします。 「高齢化や人口減少の進展により社会保障制度を取り巻く環境が大きく変化する中、今後、社会保障費は医療・介護の分野を中心に増加することが見込まれています。」
2	関口委員	【概要版】第２章 市立病院を取り巻く環境について 3 本市における医療需要と医療提供体制 ・～今後、分娩及び産じょくを除く全ての疾患で増加することが見込まれています。	分娩及び産じょくは疾患でしょうか？	分娩及び産じょくは疾患ではありませんので、記載を次のとおり修正いたします。 「今後、分娩及び産じょくは減少する一方で、多くの疾患が増加することが見込まれています。」
3	関口委員	【概要版】収支見込み (３) 多摩病院（本市病院事業会計上の収支） 医業収益：R7年度1,199百万円 → R8年度1,111百万円	多摩病院の医業収益が令和7年度から8年度にかけて減少している理由は？	多摩病院の医業収益には、指定管理者から本市への負担金が計上されておりますが、その負担金のうち、開設時に市が購入した医療機器等に対する減価償却費相当額に基づき算定される分については、減価償却の終了に伴い、令和８年度以降は計上されなくなるためです。
4	関口委員	【本編】第４章 計画期間内における取組と成果指標について 3 具体的な取組 (１) 川崎病院における取組 施策１ 医療機能の充実・強化 取組項目(2) がん医療機能の強化・拡充 P46 ⑤がん検診の推進 <取組目標>「前立腺がん検診実施件数」	前立腺がん検診は対策型検診として推奨されていないため、川崎市においてはPSA検診と称している	市立病院では、市民にとって分かりやすい表現が望ましいと考え、以前から「前立腺がん検診」とご案内しており、本計画におきましても同様に掲載しております。
5	関口委員	【本編】第４章 計画期間内における取組と成果指標について 3 具体的な取組 (１) 川崎病院における取組 施策１ 医療機能の充実・強化 取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実 P46 ①感染症医療の確保（第２種・新興感染症） <取組目標>「新興感染症に備えた医療材料備蓄や医療機器確保の取組」のR6年度～R9年度目標値「１か月分」	神奈川県との協定では個人防護具等の備蓄は2ヶ月分を目標としていませんか？	感染症法第３６条の３第１項に基づく神奈川県と締結する医療措置協定によれば、個人防護具の備蓄は２か月分を目安とすることとされていることから、備蓄の目標値は「２か月分」に変更いたします。
6	関口委員	【本編】第４章 計画期間内における取組と成果指標について 3 具体的な取組 (１) 川崎病院における取組 施策２ 医療機能の充実・強化 取組項目(3) 地域完結型医療の推進 P53 ②地域包括ケアの推進 <取組内容>・入退院支援係、医療福祉相談係との連携	連携の相手はどなたでしょうか？	川崎病院内の入退院支援係が持つ在宅診療や訪問看護等の情報と、同じく川崎病院内の医療福祉相談係が持つ各区役所、地域包括支援センター、ケアマネージャー、地域の他医療機関などの情報について相互に連携することで患者さんに最も適した支援を行ってまいります。

No.	委員名	該当箇所	御意見	病院局の見解
7	関口委員	【本編】第4章 計画期間内における取組と成果指標について 3 具体的な取組 （2）井田病院における取組 施策1 医療機能の充実・強化 取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実 P69 ⑤がん検診の推進 ＜取組目標＞「前立腺がん検診実施件数」	川崎病院同様に前立腺がん検診の文言は如何なものでしょうか	市立病院では、市民にとって分かりやすい表現が望ましいと考え、以前から「前立腺がん検診」とご案内しており、本計画におきましても同様に掲載しております。
8	関口委員	【本編】第4章 計画期間内における取組と成果指標について 3 具体的な取組 （2）井田病院における取組 施策2 地域完結型医療の推進 取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進	在宅療養を担う診療所とは？	井田病院近隣の在宅医療を提供している医療機関全般を想定しております。
9	関口委員	P75 ③在宅療養後方支援体制の強化 ＜取組内容＞・在宅療養を担う診療所との情報交換・顔の見える関係づくり	顔の見える関係づくりの具体的な施策は？	在宅療養を担う診療所への定期的な訪問、当院で開催する研修会のご案内及び退院前合同会議での情報交換を対面で行うことなどを通じて、信頼関係の構築に努めてまいります。
10	関口委員	【本編】第4章 計画期間内における取組と成果指標について 3 具体的な取組 （3）多摩病院における取組 施策6 強い経営体質への転換 取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進 P98 ○収入確保に向けた取組の推進 ＜取組目標＞「レセプト査定率」R8、R9年度目標値：0.3%	他院に比較して、査定率の目標如何でしょうか	社会保険診療報酬支払基金によれば、令和4年度の神奈川県平均査定率が0.26%、全国平均査定率は0.25%となっており、ほぼこれに準じた数字としていました。 他院がどの地方のどの程度の規模か定かではありませんが、ご指摘を踏まえて院内で再検討しまして、R6年度：0.26% R7年度：0.25% R8年度：0.25% R9年度：0.25%とし、まずは神奈川県の平均、次いで全国平均を目標といたします。
11	関口委員	【本編】第4章 計画期間内における取組と成果指標について 5 成果指標 （1）目標値 P105～107	実績が令和4年度のコロナ禍で落ち込んだ時との比較になっているが、妥当でしょうか	本計画の上位計画である川崎市総合計画では、策定年度の1年前の実績値を、直近の実績値として記載しているため、総合計画の分野別計画である本計画も、令和4年度の実績値を直近の実績値として記載しております。また、目標値の設定につきましては、令和4年度がコロナ渦であったことも踏まえて総合的に策定しており、妥当なものと考えております。
12	渡邊委員	【本編】第4章 計画期間内における取組と成果指標について 3 具体的な取組 （1）川崎病院における取組 施策6 強い経営体質への転換 取組項目(4) 施設・設備の適正管理	今回の計画は、2024-2027年の中期経営計画とのことで、根本的な再整備は、盛り込まれていませんが、川崎病院のこれまでの経過を考え、現在の医療の進歩を考えますと大規模且つ抜本的な再整備計画が考慮されるべきと思われます	現在川崎病院の劣化状況調査を進めており、本計画期間内に、経営状況と施設の劣化状況とのバランスを踏まえた各市立病院の保全計画を策定する予定となっておりますので、その作業と合わせて、川崎病院の今後についても遅滞なく検討してまいります。
13	堀田委員	【本編】第1章 本計画について 4 策定経過 （1）前計画の外部評価結果と今後の方向性について ウ 多摩病院における令和4(2022)年度点検評価結果	多摩病院の施策5「地域・社会への貢献」ですが、達成状況の評価結果Ⅱは変えられないとしても、主な取組・状況の記載内容が、実態に比べてかなり薄いと思います。地域向けの取組をかなりやっていらっしゃると思います。いかがでしょうか。	多摩病院の「市民健康講座」、「緩和ケア講習会」など、当該項目の取組を追記いたしました。
14	堀田委員	【本編】第2章 市立病院を取り巻く環境について 3 本市における医療需要と医療提供体制	第2章 3 本市における医療需要と医療提供体制の中で、「かわさき保健医療プラン」の記述を使っているところがあり、そのことは本文中に明記してあるのですが、もう少しそのことがはっきりわかるように工夫できないでしょうか。	かわさき保健医療プランからの要約である旨を追記いたしました。